
ベルサイユのばら小説

麻由美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ベルサイユのばら小説

【Zコード】

Z5399C

【作者名】

麻由美

【あらすじ】

続きです。さあ今後のオスカル様の動きに目が離せません！！！遅くなりましたが、お楽しみに！！

ベルサイユのばら小説（前書き）

わあ、いよいよ第一話が始まります。今度も目が離せない！

ベルサイユのばら小説

オスカルは14歳という若さで近衛隊の隊長に。

そして、隊長になつた理由は、ジヤルジエ將軍に剣を教え込まれていたからである。小さい頃からアンドレと剣の練習をしてきた。そのおかげで腕が上達し、隊長となつた。

オスカルは小さいときは本気で自分を男だと思っていた。しかし、14歳ともなるとさすがに自分は女だと自覚したようだ。

オスカルのことを書きすぎてしまった。

次はこの人のことについて書きたいと思う。

オスカルを陰で見守るアンドレ・グランディエについてだ。アンドレは幼くして両親を亡くし当時ジヤルジエ家に雇つていた乳母のマロン・グラッセに引き取られ、オスカルと共に生活することに。小さい頃は毎日オスカルと剣の練習をしていた。だが当然アンドレが勝てる数は少なく、ほとんどがオスカルの勝利となっていた。アンドレはオスカルより一つ上だ。ということは14歳のオスカルと15歳のアンドレとなるわけだ。

アンドレは平民、オスカルは貴族。だが、アンドレはなぜかベルサイユ宮殿への出入りが許可されていた。

やがて二人の身分の違いを苦しめるときが来てしまうとは…。誰も知らなかつたことだらう…。

第一話は二人のことで終わつてしまつたが、今度はアントワネットのことについて書きたいと思つ。

目が離せない展開に、乞ひ期待！

ベルサイユのばら小説（後書き）

お楽しみにーー！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5399c/>

ベルサイユのばら小説

2010年10月20日03時17分発行